



学年のまとめと新学年に向かって

新しい年が始まって、はや一月が過ぎました。子供たちにとっても、今の学年はあと2か月となりました。1月8日の始業式では、3学期は次の学年の準備「□学年の0（ゼロ）学期」と自分の成長に関わってくれた方への感謝の学期「ありがとう学期」にしようと話しました。



さて、陰暦2月の異称は、如月（＝きさらぎ）。衣を重ね着る様より、『更に衣を着る＝衣更着（きぬさらぎ）』からという説もあれば、『生更ぎ』の意味で、草木が更生する、つまり悪い部分を改め、さらに生き返るといふ説もあります。寒さは、今がピークを迎えている気もしますが、暦の上では2月4日（水）は立春、2月19日（木）は雨水。雨水がぬるみ、草木が発芽し始めると言われています。もう春はそこまで来ています。

子どもが伸びる心の魔法「ま・ほ・う」

私たちの研修会等でよく耳にするのがこの「ま・ほ・う」の言葉です。これは子供たちに接するときの合い言葉として大切にしているものです。先日行った校内研修会でも講師の先生から聞いたお話の中にも出てきた言葉です。この「ま・ほ・う」は、私たち教職員だけでなく、大人が子供（あるいは大人同士でも）と接する際の心のもちようを表したものです。

●「ま」：任せる（信頼の魔法）

大人はつい先回りして手助けをしたくなりますが、あえて「任せる」時間を大切にしています。そうすることで、子供たちの中に「責任感」と「自分も役に立っている」という自信が芽生えます。

●「ほ」：褒める（認める魔法）

結果だけでなく、そこに至るまでの「過程」や「小さな変化」を見逃さずに言葉にします。認められる喜びが、次の挑戦への意欲へとつながります。

●「う」：受け止める（安心の魔法）

失敗した時や立ち止まった時、まずはその子の感情を丸ごと「受け止める」ことから始めます。「ここは安心できる場所だ」という心の安全基地があるからこそ、子供はのびのびと自分らしさを発揮できるようになります。

「ま・ほ・う」の関わりは、即効性のある魔法ではありません。しかし、毎日コツコツと積み重ねることで、子供たちの心には「自分を信じる力」という一生ものの宝物が育ちます。

学校と家庭で歩調を合わせ、子供たちにたくさんの「魔法」をかけていければ幸いです。今後とも、温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

「書き初め」をしました。

3学期の始業式のあと、全校で「書き初め」をしました。1・2年生が硬筆、3～6年生が毛筆で書きました。新しい年を迎え、気持ちを新たにして、全員が集中して取り組みました。令和8年もきっといい年になると思います。



「110番の日」についての話を聞きました。

1月9日（金）に山口警察署の方が来校され、110番通報の仕組みや正しい利用の仕方についてお話していただきました。その後、代表児童が、携帯電話を使用した110番通報に挑戦しました。最後に、3年生が社会科で学習して疑問に思ったことを質問しました。



「なわとび大会」がありました。

1月16日（金）の参観日は、全校でなわとび大会を行いました。子供たちは、なわとびカードに毎日取り組み、その頑張った成果を保護者や地域の皆さんに披露しました。団体で長縄跳びにも挑戦し、会場は大盛り上がりでした。



「学校保健安全委員会」が行われました。

なわとび大会の後「第2回学校保健安全委員会」が開かれ、ヤクルト山陽様による「ウン知育教室」を行いました。保護者の皆様にもご参加いただき、便からわかる健康について学びました。会の最後には全員で腸トレ体操を行いました。



さくら小学校

2月参観日のご案内

令和8年2月20日（金）

〇13:15~14:15

3・4年生…

「二分の一成人式」（教室）

〇13:50~14:35

1・2年生、5・6年生…

「参観授業」（各教室）



参 観 日

○受付は、職員室前です。

○駐車場は、運動場西側をご利用ください。

○受付に、「参観日アンケート」を準備しておりますので、ご協力をお願いいたします。

ご来校をお待ちしています

